

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

令和4年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

生活文化学専攻

〔専門科目〕

試験日：令和3年7月3日(土)

注 意

1. 試験科目は、受験票の志望研究領域の第1志望に記入した科目を選択すること。
選択にあたっては、別紙「志望専攻・コースごとの受験すべき試験科目について」
を参照すること。
2. 解答は、別添の解答用紙を使用すること。必要に応じて複数枚を使って構わない。
(2枚同封、3枚目以上は監督者に申し出ること。)
3. 使用する解答用紙のすべてに受験番号、氏名及び選択した試験科目名を記入
すること。
4. 総ページ数 － 3ページ（1ページ目は下書き用紙）

試験科目名：比較歴史学

1. ジョーン・W・スコットは『歴史学とジェンダー』(Joan W. Scott, *Gender and the Politics of History*, 1988) のなかで、従来の女性史研究のあり方を批判し、'sex' と 'gender' という二項対立からの脱却を提唱することで、ジェンダー史学の礎を築きました。

- (1) スコットによるジェンダー概念の定義を答えなさい。
- (2) スコットによる従来の女性史およびジェンダー史批判の要点を整理しなさい。
- (3) スコットが提起したジェンダー論の要点をおさえ、それに対する自身の考えを述べなさい。

2. 以下の (A) (B) から一つ選択して論じなさい。(選択した記号を答案用紙に記すこと)

(A) 現代社会において、性的マイノリティをめぐる問題は、性同一性障がい、パートナーシップ制度、同性婚など、さまざまな形で議論されています。現代でいう性的マイノリティをジェンダー史という枠組みのなかでとらえるとき、今後、どのような研究の可能性があると思いますか。「歴史」に組み込むさいの問題点に留意しながら論じなさい。

(B) 近年、ジェンダーという観点から歴史を読み替える試みが進んでいます。具体的な事例を一つ挙げ、どのような意味で「読み替え」がなされているのか説明したうえで、その「読み替え」に関する自身の考えを述べなさい。

試験科目名：消費経済学

1. 経済のグローバル化が進む中、食においてもグローバル化が進み、「食と農の乖離」が大きくなっています。そこでまず、「食と農の乖離」がどのようなことかを説明し、この乖離が進むことによって生じる社会問題を2つ取り上げ、それらの問題が発生する要因を経済学の視点から説明するとともに、課題を解決するために必要であると考えられることについて記述しなさい。その際、「市場の失敗」という用語を必ず使用してください。
2. 下図は、家計調査の結果のうち、二人以上の世帯が年間に消費する米、パン、麺類のそれぞれの消費額を示したものです。この図から読み取れることと読み取れないことを示し、読み取れないことをより詳細に調べるためのリサーチクエスチョンを1つ立てなさい。また、そのリサーチクエスチョンを明らかにするために必要な調査の概要と分析方法について具体的に述べなさい。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

図 二人以上の世帯における米・パン・麺類の年間消費額の推移

出所：家計調査より作成。